

Fairy TopIX 2014 候補作一覧

※推理将棋・プルーフゲーム部門(短編) 候補作一覧

推1～推34 詰将棋メモ 出題 P2～P24

推35～推39 WFP作品展 P25～P27

候補作は全39作。2014年にネット上に掲載された作品となります。目次の通り掲載年月日順ではなく、発表場所別に分類しております。

推1 2014/2 渡辺秀行作

平成26年はウマ年 9手

「新年早々9手で相手を詰めるのは縁起がいいね」

「しかも26馬の着手があったんだよ」

「平成26年はウマ年って訳だね」

「そう。2手目は飛の着手だったよ」

さて、どんな将棋だったのだろうか？

<詰将棋メモ 第75回出題 第1番>

▲7六歩 ♽3二飛 ▲4四角 ♽5四歩 ▲7一角成 ♽4二玉 ▲2六馬
♽5一金右 ▲5三銀 まで9手

正解者：22名

推2 2014/2 諏訪冬葉作

桂馬乱舞 10手

「この前の将棋は10手で終わったけど桂馬が活躍したよ」

「どんな感じ？」

「目の前にいる大駒を飛び越える手が3回あった」

「あれ、それ前にもなかったっけ？」

「今回は桂馬の手が合わせて6回あった」

「それは多いな」

さて、どんな将棋だったのだろうか？

<詰将棋メモ 第75回出題 第2番>

▲7六歩 ♽7四歩 ▲7七桂 ♽7三桂 ▲6五桂 ♽同 桂 ▲6六角
♽5七桂成 ▲4六歩 ♽4七桂 まで10手

正解者：21名

推3 2014/2 渡辺秀行作

桂の四変化 Part II 13手

「また負けたのか」
「うん、またもや桂不成、桂成、桂打ち、成桂移動の順に指されてね」
「序の16歩、34歩までは良かったようだが」
「うん。先手が持駒を使い切って油断していたら13手目に、
僕の角が『同〇』と取られて詰みさ。あっけなかったよ」
さて、どんな将棋だったのだろうか？

<詰将棋メモ 第75回出題 第3番>

▲1六歩 △3四歩 ▲1七桂 △4二玉 ▲2五桂 △3二玉 ▲3三桂不成
△4二銀 ▲2一桂成 △7七角不成 ▲6八桂 △2二角不成 ▲同成
桂 まで13手
正解者：19名

推4 2014/3 橋圭伍作

隅角！？ 9手

A「51に居た玉に王手を掛けた将棋はその後どうなったの？」
後手「2度目の王手の9手目で詰まされた。けど楽しかったよ」
A「何か、面白い事があったの？」
後手「自身の利き以外の利きがない地点への着手が6回もあったんだ」
A「それは珍しいね。でも、それだけだと分からないよ」
後手「相手が1段目に着手した直後、自分は1段目に着手したのが敗着だったんだ」

さて、どんな将棋だったのだろうか？

<詰将棋メモ 第76回出題 第1番>

▲7六歩 △1二香 ▲3三角成 △6二玉 ▲2三馬 △6四歩 ▲4一馬
△1一角 ▲6三金 まで9手
正解者：15名

推5 2014/3 チャンプ作

手掛かりは先手の着手のみ 13手

少年A「君が5手目に香を取ってた将棋、その後どうなったか教えてよ。」

少年B「どうなったと言われても13手で詰ませて勝っただけだよ。」

少年A「それだけでは何も分からないよ。」

少年B「9手目に使った歩を、後に空成りしたのが唯一の駒成さ。」

少年A「手掛かりはそれだけか・・・。」

さて、どんな将棋だったのだろうか？

<詰将棋メモ 第76回出題 第2番>

▲7六歩 ▼4二銀 ▲3三角不成 ▼3一角 ▲1一角不成 ▼2二角 ▲6六歩 ▼同 角 ▲6二歩 ▼6四歩 ▲6三香 ▼5二金右 ▲6一歩成
まで13手 正解者：18名

推6 2014/3 はなさかしろう作

相乗効果 13手

「13手で詰んだって」

「金右と指したら、相手は2筋の手で応じたよ」

「55への着手で駒柱が完成したね」

「成る手はなかったな」

「それにしても、13とか金とか、駒柱とかって...」

「マイナス掛けるマイナスはプラスってことで、どうかな？」

さて、どんな将棋だったのだろうか？

<詰将棋メモ 第76回出題 第3番>

▲7六歩 ▼5二金左 ▲3三角不成▼同 桂 ▲5八金右 ▼2五桂 ▲3八飛▼3七桂不成 ▲同 飛 ▼5六角 ▲5四桂 ▼5五角 ▲3一飛不成
まで13手
正解者：11名

推7 2014/4 はなさかしろう作

ささやかな軍議 10手

「殿、御味方の動きが鈍うござるが、本日のいくさはいかがあいなりましょうや」
「うむ、やはりな。されど五助よ、いまさら言うまい。我らは前進あるのみぞ」
「喜んで先駆けつかまつる。殿を玉、私を歩に見立てて、交互に直進させます」
「とはいえ彼奴らめ、きっと裏切り成り上がるであろうよ。それ、この通り」
「南無三、10手目の成で詰まされるとは。なれど、ならばこそ最後までお供しますぞ」

さて、どんな将棋だったのだろうか？

<詰将棋メモ 第77回出題 第1番>

▲5八玉 ▽3四歩 ▲5六歩 ▽7七角不成 ▲5七玉 ▽8八角不成 ▲
5五歩 ▽4六角 ▲5六玉 ▽5五角右成 まで10手
正解者：20名

推8 2014/4 Pontamon作

桂馬の駒を5手 11手

A「11手で勝ったよ。」
B「どんな将棋だったの？」
A「2手目は歩以外の駒だった。後手玉の着手は2回だったね。」
B「先手の君は？」
A「着手した筋は2つの筋だけで、王手は2回だったよ。」
B「やたらと「2」ばかりだね。」
A「そんなことはないよ、ぼくは桂馬の駒を5回指したよ。」※

さて、どんな将棋だったのだろうか？

<詰将棋メモ 第77回出題 第2番>

▲7六歩 ▽5二玉 ▲7七桂 ▽7四歩 ▲6五桂 ▽7三桂 ▲同桂成
▽5一金右 ▲6三成桂 ▽6一玉 ▲7三桂 まで11手
正解者：20名

推9 2014/4 チャンプ作

金縛りの歩

11手

半 蔵「拙者が先手のようだな、では初手はこうだ。」

十兵衛「そうきたか、では農はこうするとするか。」

半 蔵「忍奥義、歩不動金縛りの術！！」

十兵衛「なっ、なぬ！？」

半 蔵「さあ、これで互いに歩を動かすことも取ることも出来なくなった。」

十兵衛「くそっ、お主このような場でも忍術を使うとは・・・。」

半 蔵「それでは続けるとするか、次は3手目だったな。」

十兵衛「まだ勝負は始まったばかりだ、農は負けん！」

半 蔵「これでどうだ？どうやら11手で詰みのようだな。」

十兵衛「唯一の駒打ちが五段目の飛打ちとは・・・無念。」

さて、どんな将棋だったのだろうか？

<詰将棋メモ 第77回出題 第3番>

▲7六歩 ♽5四歩 ▲4四角 ♽6二飛 ▲同角成 ♽4二玉 ▲6一馬
♽5三玉 ▲3五飛 ♽4四玉 ▲7一馬 まで11手

正解者：19名

推10 2014/5 DD++作

無気力試合

12手

「この前、とってもやる気のない指し手と対局してさ」

「へえ、どんな感じだったの？」

「1枚の歩を突き続けるだけで他は何もしてこないんだ」

「12手目に最奥で強制的に成って、14手目はどうしたの？」

「さあね。こっちもさっさと終わらせようと12手で自玉が詰むように指したから」

「ひどい勝負だな」

「おいおい、相手の意図に気づいてとっさに端歩を突いた5手目を褒めてくれよ」

さて、どんな将棋だったのだろうか？

<詰将棋メモ 第78回出題 第1番>

▲4八玉 ▽1四歩 ▲3八玉 ▽1五歩 ▲1六歩 ▽同歩 ▲1七桂
▽同歩不成 ▲2九玉 ▽1八歩不成 ▲3八金 ▽1九歩成 まで12手

正解者：21名

推11 2014/5 Pontamon作

駒台の駒を摘み間違えた結果は？ 11手

A「この前の対局、後手は2筋の駒（初形で2筋にあった駒）だけしか指さない、変な指し方の相手だったよ。」

B「で、何手で勝負がついたの？」

A「11手だよ。」

B「じゃ、勝ったんだ。」

A「いや、負けたんだよ。10手目の初王手の時、駒台に3つ駒があって、合い駒に歩以外の駒を摘んだつもりだったけど実は歩で、それを合い駒の場所の68に打ったから二歩反則負けだったんだ。」

B「でも、最後の二歩の手を除けば、5回の着手で駒を3つ取ったんだ。大駒が成って大活躍だったのかい？」

A「いや、駒成りはなかったよ。」

さて、どんな将棋だったのだろうか？

<詰将棋メモ 第78回出題 第2番>

▲7六歩 △2四歩 ▲4四角 △2五歩 ▲5三角不成 △2六歩 ▲3一角不成 △同 角 ▲2六歩 △8六角 ▲6八歩 まで11手（反則負け）

正解者：20名

推12 2014/5 チャンプ作

超一流のスーパー 13手

女「貴方の腕を見込んである男と対決して欲しいの。」

男「美女の頼みを断るほど俺は野暮じゃないぜ。」(おっ！すげえもっこりちゃん！)

女「将棋のルールは知ってるかしら？」

男「玉に狙いを定めて撃ち抜けばいいんだろ？」(え？なに？将棋で対決なの？)

女「まあそうね、お願いできるかしら？」

男「任せておきな・・・これでどうだい？」(えーい、こうなったらヤケクソだ！)

女「流石ね、13手目▲51角不成、初王手で見事に詰みに討ち取ったわ。」

男「美女との約束は必ず守る主義でね。」(え？なにがどうなった？)

女「7手目の飛打ちが唯一の駒打ちとは無駄がないわね。」

男「どんな敵でも一撃で仕留めるのが俺の流儀さ。」(ひょっとして上手くいった？)

女「8手目の小駒の手に対して9手目に同じ筋への小駒の手で合わせたところが素敵だったわ。」

男「照準を合わせた時点で俺の勝ちは決まっていたな。」(それっぽく言うておこう)

女「ありがとうおかげで助かったわ、ところで報酬はいくらかしら？」

男「金なんて要らないさ、報酬は君の身体で・・・。」(それでは、いっただきませ)

？「この、もっこり男があああああ〜天誅うううう〜【100tハンマー発動】」

さて、どんな将棋だったのだろうか？

<詰将棋メモ 第78回出題 第3番>

▲7六歩 ▽4二飛 ▲3三角不成 ▽6二玉 ▲4二角不成 ▽7四歩 ▲1四飛 ▽7五歩 ▲7七桂 ▽7三玉 ▲2四角不成 ▽8四玉 ▲5一角不成 まで13手

正解者：19名

推13 2014/6 DD++作

右桂の活躍 9手

「さっきの将棋、▲36歩△42金▲37桂まで見てたけどどうなった？」

「9手で詰んだよ、って言えば残りの6手は分かるよね」

さて、どんな将棋だったのだろうか？

<詰将棋メモ 第79回出題 第1番>

▲3六歩 △4二金 ▲3七桂 △5四歩 ▲4五桂 △5三金 ▲同桂成
▽7二金 ▲5二金 まで9手

正解者：14名

推14 2014/6 渡辺作

銀で応じる 9手

「この前の9手で詰んだ将棋ってどんな感じだった？」

「駒を成る着手に72銀と応じたり、玉の斜め移動に対して

銀で王手して応じたり…」

「他には？」

「記憶にないよ。この銀で応じた2手だけ印象的だった」

さて、どんな将棋だったのだろうか？

<詰将棋メモ 第79回出題 第2番>

▲7六歩 △3四歩 ▲2二角成 △7二銀 ▲3五角 △4二玉 ▲3一馬
▽3三玉 ▲2二銀 まで9手 正解者：13名

推15 2014/6 渡辺作

金一枚違う

11手×2

A「11手で詰めて勝ったよ。ほら」

B「奇遇だね。僕もそうだよ。あら、僕のも同じ局面かな？82に銀があるし」

A「いや、盤面は同じだけど駒台を見ると僕の方が金一枚多いよ」

B「なるほど、実力は金一枚違う、という訳だね。ところで僕は後手の金を同角生と取ったんだ」

A「僕もそうだよ。だけど君とはそのときの角移動の左右の向きが違うんだ」

さて、どんな将棋だったのだろうか？

<詰将棋メモ 第79回出題 第3番>

A

▲7六歩 ▼6二金 ▲3三角不成 ▼6一玉 ▲5一角不成 ▼9二飛 ▲6二角不成 ▼5一金 ▲同角不成 ▼8二銀 ▲6二金 まで11手

B

▲7六歩 ▼5二玉 ▲3三角不成 ▼5一金左 ▲同角不成 ▼9二飛 ▲7二金 ▼8二銀 ▲6一金 ▼同玉 ▲6二金 まで11手

正解者：9名

推16 2014/7 DD++作

将棋ソフトの謎戦術 (A) 9手

「この将棋ソフト、なんか戦術おかしくない？」
「どうも棋譜に『44角』と記録されると必ず『62飛』と応じるみたいだね。
実際にそのやりとりが行われた棋譜が2つある」
「どちらも9手で詰んでるね。
こっちは先手が成る手2回で銀歩を取ったのか。
もう1つは先手が成る手2回で金歩を取ってるんだね」
「何にしろ、このソフトは使い物にはならないね」

さて、どんな将棋だったのだろうか？

<詰将棋メモ 第80回出題 第1番>

▲7六歩 ▽3四歩 ▲2二角不成 ▽5二玉 ▲3一角成 ▽5一金左 ▲
4四角 ▽6二飛 ▲5三角成 まで9手 正解者：13名

推17 2013/7 DD++作

将棋ソフトの謎戦術 (B) 9手

「この将棋ソフト、なんか戦術おかしくない？」
「どうも棋譜に『44角』と記録されると必ず『62飛』と応じるみたいだね。
実際にそのやりとりが行われた棋譜が2つある」
「どちらも9手で詰んでるね。
こっちは先手が成る手2回で銀歩を取ったのか。
もう1つは先手が成る手2回で金歩を取ってるんだね」
「何にしろ、このソフトは使い物にはならないね」

さて、どんな将棋だったのだろうか？

<詰将棋メモ 第80回出題 第2番>

▲7六歩 ▽3二飛 ▲3三角成 ▽4二金 ▲3二馬 ▽4四角 ▲6二飛
▽2二銀 ▲4二飛成 まで9手
正解者：13名

推18 2014/7 Pontamon作

前後反対の鏡 12手×2

A局(?)「すーさん、これが12手で詰めた終局図だよ。」

B局(す)「あれっ、デジャヴかな。そうか、僕が12手で詰めた対局と似てるんだ、これだよ。」

(?)「本当だ、裏から透かしてみると似てるね。鏡って、左右反対じゃなくてこんな風に裏から表を見ている前後反対なんだってね。」

(す)「へえ、そうなの。それより見比べてみようよ。僕らの飛車の着手は、1マス～5マス移動が一度ずつの5回だね。そのうちの2回は横移動ってところも同じだね。」

(?)「先手は各手番に着手した駒種は両局とも同じで、7手目は銀だね。1手目と5手目は着手地点も同じなんだ。」

(す)「2手目は着手地点も駒種も違うけど、4手目は着手地点が同じだね。」

(?)「違うところは、僕は角を取ったくらいかな。」

さて、どんな将棋だったのだろうか？

<詰将棋メモ 第80回出題 第3番>

A ▲7六歩 ▼3二飛 ▲3三角不成 ▼5二玉 ▲6六角不成 ▼3六飛 ▲3八銀 ▼6六飛 ▲4八金 ▼6七飛不成 ▲4九玉 ▼6九飛成 まで12手。

B

▲7六歩 ▼4四歩 ▲同 角 ▼5二飛 ▲6六角 ▼4二飛 ▲7八銀 ▼4七飛不成 ▲6八金 ▼4五飛不成 ▲6九玉 ▼4九飛成 まで12手
正解者：9名

推19 2014/8 NAO作

端桂戦法 9手

- ・9手で詰んだ
- ・4手目は金
- ・7手目は端桂
- ・8手目は金
- ・9手目は金

<詰将棋メモ 第81回出題 第1番>

▲9六歩 △5四歩 ▲9七角 △4二金 ▲同角成 △6二玉 ▲9七桂
△7二金 ▲5二金 まで9手

正解者：18名

推20 2014/8 DD++作

空蟬の術 9手

- ・9手で詰んだ
- ・初手は歩
- ・2手目は4筋
- ・5手目は三段目
- ・9手目は駒成

<詰将棋メモ 第81回出題 第2番>

▲7六歩 △4二玉 ▲6六角 △5四歩 ▲9三角不成 △5三玉 ▲5六歩
△6四玉 ▲7五角成 まで9手

正解者：18名

推21 2014/8 チャンプ作

5筋の謎を解き明かせ 9手

- 9手で詰んだ
- 6手目は5筋の手
- 7手目は5筋の手
- 8手目は5筋の手
- 9手目は角打ち

<詰将棋メモ 第81回出題 第3番>

▲7六歩 △3四歩 ▲2二角成 △4四歩 ▲2一馬 △5二玉 ▲5四桂
△5一金右 ▲4三角 まで9手

正解者：18名

推22 2014/9 NAO作

端銀戦法 9手

「さっきの将棋、不成の手があって9手で詰んだみたいだね」

「ああ、端に銀の手のある珍しい戦型だった。42地点の着手が2回あったね」

さて、どんな将棋だったのだろうか？

<詰将棋メモ 第82回出題 第1番>

▲7六歩 △3四歩 ▲2二角不成 △4二玉 ▲3一角成 △3三玉 ▲1
五銀 △4二金 ▲2二角 まで9手

正解者：21名

推23 2014/9 Pontamon作

臆病な飛車(A) 12手

甲「12手詰のツイン作品を作ったんだけど、ちょっと見てくれないかな？」

乙「いいよ、どれどれ。手数以外に共通条件が二つだね」

甲「異なっている条件は、A局は『持駒を打つ手はなかった』で、B局は『成る手はなくて、金取りに駒を打つ手があった』だよ」

乙「ツインだと裏読みされそうだけど、それは仕方ないね」

甲「共通条件の一つは“棋譜に‘同飛’が付く着手が不連続で3回”だけど、これがメインの条件なんだ」

乙「飛車以外の駒での‘同’は無いんだし、不連続で3回ってのは判りにくいね。単刀直入に書いた方がいいよ」

甲「じゃ、『棋譜上‘同’の着手は‘同飛’の付く着手3回だけで、4手目以降4手毎(4、8、12手目)に指された』にするね」

乙「もう一つの共通条件の『飛車を取る機会はなく、飛車取りを掛ける手もなかった』はこの表現でいいと思うけど、この『蝶のように舞い、蜂のように刺す』ってタイトルは何だい？」

甲「後手飛車へ先手の攻撃が届かないイメージが合っていると思うんだけど…」

乙「僕に言わせりゃ、敵の射程外でコソコソしている臆病な飛車だね」

甲「甲乙つけ難いね」

さて、どんな将棋だったのだろうか？

<詰将棋メモ 第82回出題 第2番>

▲7六歩 △3二飛 ▲3三角不成 △同 飛 ▲6八玉 △3五飛 ▲7五歩 △同 飛 ▲5九金左 △8八角成 ▲7八銀 △同飛成 まで12手

正解者：19名

推24 2014/9 Pontamon作

臆病な飛車(B) 12手

甲「12手詰のツイン作品を作っただけど、ちょっと見てくれないかな？」

乙「いいよ、どれどれ。手数以外に共通条件が二つだね」

甲「異なっている条件は、A局は『持駒を打つ手はなかった』で、B局は『成る手はなくて、金取りに駒を打つ手があった』だよ」

乙「ツインだと裏読みされそうだけど、それは仕方ないね」

甲「共通条件の一つは“棋譜に‘同飛’が付く着手が不連続で3回”だけど、これがメインの条件なんだ」

乙「飛車以外の駒での‘同’は無いんだし、不連続で3回ってのは判りにくいね。単刀直入に書いた方がいいよ」

甲「じゃ、『棋譜上‘同’の着手は‘同飛’の付く着手3回だけで、4手目以降4手毎(4、8、12手目)に指された』にするね」

乙「もう一つの共通条件の『飛車を取る機会はなく、飛車取りを掛ける手もなかった』はこの表現でいいと思うけど、この『蝶のように舞い、蜂のように刺す』ってタイトルは何だい？」

甲「後手飛車へ先手の攻撃が届かないイメージが合っていると思うんだけど…」

乙「僕に言わせりゃ、敵の射程外でコソコソしている臆病な飛車だね」

甲「甲乙つけ難いね」

さて、どんな将棋だったのだろうか？

<詰将棋メモ 第82回出題 第3番>

▲7六歩 △3二飛 ▲3三角不成 △同 飛 ▲5八玉 △3二金 ▲3六歩
△同 飛 ▲3三歩 △5九角 ▲5六歩 △同 飛 まで12手

正解者：18名

推25 2014/10 NAO作

縄の端に鐘を掛けて 9手

「さっきの将棋どうだった？端の手を指す所だけ見たんだけど」
「結局9手で詰んだよ。7筋に金を打った手が勝敗を分ける一手だったね」

さて、どんな将棋だったのだろうか？

<詰将棋メモ 第83回出題 第1番>

▲7六歩 △5二玉 ▲3三角不成△5一金右 ▲同角不成 △9二飛 ▲7
二金 △8二銀 ▲6二金 まで9手 正解者：20名

推26 2014/10 ミニベロ作

三捨利警部の推理・凶器は隅に 11手

警官「警部起きてください、11手詰の事件です」
警部「冬眠中なんだがな。どれ」
警官「8手目は飛車で端の手だと判明しています」
警部「それだけでは推理のしようがないよ」
警官「とどめの凶器は、隅の空間に着手されています」
警部「隅の？ それじゃ犯人は隅の老人さんだな」
警官「警部、真面目にやってください」
警部「すまんすまん。だが8手目の謎は解けたよ」

さて、どんな手口だったのでしょうか。推理してみてね。

<詰将棋メモ 第83回出題 第2番>

▲7六歩 △3四歩 ▲2二角成 △4二玉 ▲2一馬 △3三玉 ▲9八香
△1二飛 ▲4三馬 △2二玉 ▲9九角 まで11手
正解者：19名

推27 2014/10 はなさかしろう作

夜の長い季節は端で 12手

「12手で詰んだって？暦好きの君らしいね。それで、どんな将棋だったの？」

「最初の3手と最後の3手が端の筋の手で、それから…」

「ちょっと待った。つまり、1、2、3、10、11、12手目が端の筋の手だったんだね？」

「そう。それで、その6手は互いに異なる段の手だったよ」

さて、どんな将棋だったのだろうか？

<詰将棋メモ 第83回出題 第3番>

▲9六歩 △1二香 ▲9七桂 △3四歩 ▲6八玉 △7七角不成 ▲7八玉
△8八角不成 ▲8九玉 △1一角打 ▲9八玉 △9九角成 まで12手

正解者：18名

推28 2014/11 NAO作

リッチな輝き 9手

「さっきの将棋どうだった？銀の手の後に金の手を2回見たけどその後盤面がキンキラキンに輝いて眩しくてよく見えなかったよ」

「結局9手で詰んだ。君の見た金の手2回の後にも銀の手を3回も見たよ。駒がギンギラギンに輝いていたね」

さて、どんな将棋だったのだろうか？

<詰将棋メモ 第84回出題 第1番>

▲7六歩 △3二銀 ▲3三角成 △4二金 ▲3二馬 △3三金 ▲3一銀
△6二銀 ▲4二銀成 まで9手

正解者：17名

推29 2014/11 ミニペロ作

条件の多い9手詰 9手

「新しい推理将棋作ったんだけど、見てくれない？」

「どれどれ、条件はどんなの？」

「5筋の手が4連続であって、4筋の手が連続であったの」

「なるほど、それだけね」

「いや、まだあるの。2筋の手があって、『左』の手もあったんだ」

「何それ？ 条件多すぎ！ よほどの大作なんだろうね」

「ところが9手詰作品なんだ」

「だめだめそんなの。誰も解いてくれないよ、センスないね」

「そう言わないで、やってみてよ」

というわけで、解いてやってくださいな。

<詰将棋メモ 第84回出題 第2番>

▲7六歩 △2四歩 ▲3三角不成 △4二銀 ▲同角不成 △5二玉 ▲5
八金左 △5四歩 ▲5三銀 まで9手

正解者：17名

推30 2014/11 はなさかしろう作

伏線とその回収 12手

「今遊びに来てた連中、文芸部だっけ？ 腕前はどうかだった？」

「どうだかなあ。先手なんていきなり1筋に指したと思ったら、次は68玉だぞ」

「そのあと結局、後手が最後に3手連続で1筋に指して、12手で詰んだよ」

「ふうん。全局通して見ると、1, 8, 10, 12手目が1筋で、3手目が68玉というわけか」

「なるほど。伏線をはって、回収したってこと？ 棋譜を合作してたのかもね」

さて、どんな将棋だったのだろうか？

<詰将棋メモ 第84回出題 第3番>

▲1八飛 △3四歩 ▲6八玉 △4四角 ▲5六歩 △3三桂 ▲5七玉
△1七角成 ▲4六玉 △1八馬 ▲3六玉 △1六飛 まで12手
正解者：15名

推31 2014/12 Pontamon作

年明けて... 11手

「年明けて ウマ年おわり シープなり」

「何、それ？」

「友達から来た年賀状に書いてあったんだけど、どうやら、14馬と41歩成の着手がある11手詰の推理将棋のことみたいなんだ」

「2014年の14馬と41歩成が“シープなり”の2015年の年明けって訳ね」

「このヒントで解けるらしいんだ」

「推理将棋のことは知らないけど、その友達、俳句と駄洒落については才能なしだね」

「元旦早々『駒打ちは一度だよ』と電話して来たから、推理将棋も才能ないのかもね」

さて、どんな将棋だったのだろうか？

<詰将棋メモ 第85回出題 第1番>

▲9六歩 △3四歩 ▲9七角 △6六角 ▲5三角成 △5七角成 ▲6三馬 △4七馬 ▲4二歩 △1四馬 ▲4一歩成 まで11手 正解者：17名

推32 2014/12 ミニペロ作

年越しパーティー 11手

将棋好きが数人で年越しパーティーをしているようです。

「みんなで2年越しの将棋を指そうよ」

「いいね、じゃあ6手目は銀の手を指すよ」

「あっ12時を過ぎた。2015年だ」

「平成27年でもあるよ」

「じゃあ9手目と10手目は15か27に着手してね」

「どちらも駒を打つ手にするよ」

「あらら、11手で詰んじゃった。1月1日だから勝っても負けてもおめでとう」

さて、どんな将棋だったのだろうか？

<詰将棋メモ 第85回出題 第2番>

▲2六歩 △2四歩 ▲2五歩 △同歩 ▲同飛 △6二銀 ▲2二飛成
△5二金左 ▲1五角 △2七歩 ▲3一龍 まで11手

正解者：13名

推33 2014/12 渡辺秀行作

27の駒 11手

「平成27年の指し初めは27の駒を動かす着手があったよ」

「君にしては珍しく普通の将棋を指したのかな。それでどうなった？」

「11手目11への着手で詰めて僕が勝ったのさ」

「勝因は？」

「5手目、1段目に駒を打ったのが良かったと思うよ」

さて、どんな将棋だったのだろうか？

<詰将棋メモ 第85回出題 第3番>

▲7六歩 △3四歩 ▲2二角不成 △4二玉 ▲5一角 △3二玉 ▲2六歩
△3三桂 ▲同角左成 △2一玉 ▲1一角成 まで11手

正解者：16名

推34 2014/12 はなさかしろう作

ひつじといえば 11手

「あけましておめでとう！ ちょうど指し初めしたところだよ。棋譜見る？」

「謹賀新年！ 今年も気合十分だね・・・お、元日らしく、11手で詰みか」

「もちろん。それから、初期位置の2カ所を含む盤上計7カ所に角を出没させてみたよ」

「え？ 未だからツノって…こじつけ！？ 羊といえば、ウールだと思うけど」

「ううむ。それなら、最終手が27の地点への着手ってことで、どうかな？」

「ははあ。今年の指し初めはこの詰め上がりかめじろ押しかもね」

さて、どんな将棋だったのだろうか？

<詰将棋メモ 第85回出題 第4番>

▲7六歩 △6二玉 ▲3三角不成 △7二玉 ▲4二角不成 △4四角 ▲5
三角成△2六角 ▲同歩 △6四歩 ▲2七角まで まで11手

正解者：12名

推35 2014/1 橘圭伍作

古壺新酒 9手

後手「油断していたら9手で詰まされたよ」

A「一体、どんな将棋だったの？」

後手「止めが唯一の駒成りだったんだけど相手の指が震えていた。こんな詰みを見落とした僕に対する怒りだろうね」

A「うーん、全く分からないね。他に印象的だった手はないのかな？」

後手「相手方(*注)の2種類の駒の利き以外に効きがない地点に駒を打つ事が2回だけあったんだ」

A「駒打ち2回とは珍しいね。

先手が打ったの？後手が打ったの？」

後手「それは教えられないね。

後、棋譜上、同の付く着手はなかったよ」

A「本当に変な将棋だったんだね」

(*注)「相手方」とは、駒を打つ側の相手の事

<第59回WFP作品展 59-5>

76歩 42銀 33角生 52玉 42角生 99角生 44銀 18香 53銀成 まで 9手
正解者：5名

推36 2014/2 橘圭伍作

離合！？ 9手

A「歩を取って王手する手が2回あったと聞いたけど一体どんな将棋だったの？」

後手「最終手に唯一の駒成りで詰まされたよ。今回も前回同様に9手目の出来事だったよ」

A「また、残念な結果だったね…」

後手「玉を42に動かして抵抗はしたのだけど駄目だったよ」

さて、どんな将棋だったのでしょうか？

<第60回WFP作品展 60-9>

96歩 34歩 97角 77角生 同桂 42玉 62角 52玉 53角上成 まで 9手
正解者：5名

推37 2014/3 橘圭伍作（余詰）

無愛！？ 9手

A「華麗に9手で負けたと聞いたけど何があったの？」

後手「唯一の不成の手に対して玉の手で応じたのが駄目だったよ。」

A「終局図の一部を見たけど1段目には駒が9枚綺麗に並んでたよね？それでも、負けたの？」

後手「先手は、駒を取った次の手でその駒を打つ手を2回指したんだ。で、2回目の着手で良く見たら詰まされていたんだよ。」

A「愛がないから負けるんだね。」

さて、どんな将棋だったのでしょうか？

<第61回WFP作品展 61-8>

76歩 34歩 22角生 52玉 51角 54歩 11角成 55歩 54香 まで 9手
正解者：4名

推38 2014/4 橘圭伍作

Duplex 9手

A「9手の壁が高いと聞いたけど諦めないの？」

後手「うん。今回は2回目の王手の9手で詰まされたよ。それまでに、相手は飛車の利きがある地点へ2回馬を動かしたよ。」

A「君は抵抗しなかったの？」

後手「自分は馬の利きがある地点へ2回飛車を動かして抵抗したよ。」

A「うーん、他には？」

後手「歩の着手が2回あったよ」

さて、どんな将棋だったのでしょうか？

<第62回WFP作品展 62-11>

76歩 64歩 33角成 42飛 32馬 62玉 41馬 32飛 43金 まで 9手
正解者：5名

推39 2014/9 一乗谷酔象作

樋内一族の四兄弟 9手

樋内一族の四兄弟は街のならず者だ。

飛車打ちがあって成る手がない将棋でたったの9手で相手をぶっ倒した。

一郎「俺が飛車を打ったのは一段目。

打つ手が2回と銀の手があったね」

二郎「俺が飛車を打ったのは二段目。2手目は5筋で止めの1手は角の手だった」

三郎「俺が飛車を打ったのは三段目。

もちろん2手めは5筋だ」

四郎「俺が飛車を打ったのは四段目。

2手目は6筋さ」

さて、樋内一族四兄弟の指した4つの対局とは、どんな将棋だったのだろうか？

<第66回WFP作品展 66-10>

76歩 34歩 22角生 52金右 61角 72飛 同角生 42銀 61飛 まで 9手
76歩 54歩 55角 74歩 82角生 42玉 92飛 51金右 64角生 まで 9手
76歩 52金左 55角 74歩 82角生 62金上 73飛 61玉 71飛生 まで 9手
76歩 62飛 44角 54歩 62角生 52玉 51角生 55歩 54飛 まで 9手

正解者：4名